

2026年3月24日

プレスリリース

東京大学未来ビジョン研究センター
アクサ生命保険株式会社

東京大学とアクサ生命が共同開発 企業の人的資本を可視化する新指標「ウェルビーイングスコア」を発表 ～客観的なデータに基づき健康経営と企業の持続的成長を後押し～

東京大学未来ビジョン研究センター（以下「東京大学」）とアクサ生命保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：安淵 聖司、以下「アクサ生命」）は、企業の非財務情報である「人的資本」を独自の算出方法で数値化する新指標「ウェルビーイングスコア」を開発し、2年間の共同研究の成果として本日その詳細を発表しました。この革新的な評価指標は、企業の従業員のウェルビーイングと経営成果の関係を客観的なデータで明らかにし、持続可能な成長戦略に寄与することを目的としています。

アクサ生命は、商工会議所と全国産業団体連合会（現在の一般社団法人日本経済団体連合会）を推進母体として設立され、日本で初めて団体生命保険を販売した日本団体生命を、その前身の一つとしています。設立以来、日本の経済を支える中小企業の発展と従業員の福利厚生への貢献を重要な使命としてきました。日本の企業の99.7%を占める中小企業では、限られた人的資源の中で従業員一人ひとりのウェルビーイング向上が企業の生産性、ひいては持続的な成長に直結します。少子高齢化による労働力人口減少が深刻化する現代において、従業員のウェルビーイング向上と定着は中小企業にとって喫緊の経営課題であり、アクサ生命はこの分野での支援を強化しています。

【背景と課題】

近年、社会的に「ウェルビーイング」の重要性が高まる中、従業員の健康や働きやすさが企業のパフォーマンスに与える影響は広く認識されています。しかし、これまで従業員一人ひとりのウェルビーイング、すなわち人的資本の主要な構成要素を包括的に測定し、企業全体のパフォーマンスとの関連性を定量的かつ実践的に示す指標は存在しませんでした。このギャップを埋めるべく、包括的にウェルビーイングを測定できる方法の確立が求められていました。

【研究の概要と「ウェルビーイングスコア」】

この課題に対し、東京大学とアクサ生命は共同研究を通じて、企業のウェルビーイングの度合いを数値化する「ウェルビーイングスコア」を開発しました。このスコアは、企業の人的資本を定量的に評価することを可能にし、その高低が企業の業績、人材の採用・定着、従業員の健康状態と密接に関係していることが大規模なデータ分析により実証されています。本スコアの導入により、企業は自社の課題把握や健康経営の効果検証など、企業価値向上に向けた施策の更なる推進が期待されます。

【主要な成果と意義】

本研究結果によると、ウェルビーイングスコアが高い企業は、低い企業と比較して、離職率の抑制や労働生産性の向上といった経営指標において優位性を示すことが明らかになりました。このスコアは、従業員の健康維持や働きやすさの向上だけでなく、優秀な人材の獲得・定着にも寄与することが期待されます。

【今後の展望】

この新指標を活用することで、企業は自社の健康経営の現状把握や改善策の策定に役立てることが可能です。ウェルビーイングの推進を通じて、従業員のエンゲージメント向上を促進し、持続可能な経営と労働環境の改善に寄与することが期待されます。

東京大学は、本指標を通じて人的資本と企業経営の関係性に関する研究を深化させ、産学官連携による研究成果の社会実装を通じて、人的資本を起点とした持続可能で活力ある未来社会の実現に貢献してまいります。

アクサ生命は、全国の商工会議所・商工会、自治体等との連携を通じて企業の健康経営をサポートし、すべての働く人々とそのご家族のウェルビーイング、企業の持続的発展と持続可能な社会の構築に貢献いたします。

東京大学未来ビジョン研究センターについて

東京大学未来ビジョン研究センター（IFI）は、2019年4月、政策ビジョン研究センターと（PARI）と国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構（IR3S）の両部局が発展的に統合する形で設置されました。東京大学の持続可能な開発目標（SDGs）に向けた取り組みの枠組みである未来社会協創推進本部（Future Society Initiative, FSI）の中核的組織として位置付けられます。IFIは、持続可能な未来社会を創造するために、未来社会の諸課題に関する政策・社会提言ならびにそのための社会連携研究を行います。また未来社会に関連する大学の知見を統合する国際ネットワーク・ハブおよび産官学民との協創のプラットフォームとしての役割を果たし、研究に基づいた未来社会を実現する選択を示すとともに、それを担う人材の育成にも貢献します。

アクサ生命について

アクサ生命はアクサのメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。アクサが世界で培ってきた知識と経験を活かし、315 万人のお客さまから 571 万件のご契約をお引き受けしています。1934年の日本団体生命創業以来築いてきた全国 511 の商工会議所、民間企業、官公庁とのパートナーシップを通じて、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品、企業福利の増進やライフマネジメント®（人生を経営する）*に関するアドバイスをお届けしています。2024 年度には、2,496 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。

*ライフマネジメント®はアクサ生命保険株式会社の登録商標です。

アクサグループについて

アクサは世界 52 の国と地域で 156,000 人の従業員を擁し、9,200 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2025 年の売上は 1,155億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは 84 億ユーロにのびります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、アクサの米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（DJSI）や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*アクサグループの数値は 2025 年 1 月～12 月の業績です。

メディアの問合せ先:

東京大学未来ビジョン研究センター
データヘルス研究ユニット
dh-jimu@ifi.u-tokyo.ac.jp

アクサ生命保険株式会社
コミュニケーション・ブランド & サステナビリティ
電話：03-6737-7140